

「旅日記を楽しもう」

講師
田中元二

佐久間象山「沓野日記」(全4回)

「沓野日記」は江戸時代末期の嘉永元年(1848)に佐久間象山が松代藩領内の沓野・佐野・湯田中の三村(現在の山ノ内町)の利用係(派遣された村長のような役職)として赴任した時に書いた日記です。象山の豊富な知識から地域振興に繋がるものを何か掘り起こせないかと期待されたのでした。

その際に現在の志賀高原を越えて草津温泉、さらにその奥の入山から野反湖を越え、魚野川や中津川などを探検して秋山郷へ出て、野沢温泉を廻った記録が「沓野日記」です。旅はまだ続きます。数日後、志賀高原の大沼池と岩菅山へも登っています。象山は相当な健脚家でした。

はくば塾では旅日記を読んで行程を地図で追ひ、立ち寄った場所を映像で見ながら追想します。解説と共に楽しみましょう。

日時	第1回	6月14日(火)	各回ともに10時～12時
	第2回	6月28日(火)	
	第3回	7月5日(火)	
	第4回	7月19日(火)	

場 所：保健福祉ふれあいセンター2階 学習室

受講料：各回 500円、資料代1,000円(初回のみ)

持ち物：筆記用具・「旺文社 山と高原地図 志賀高原」があればお持ちください。

お申込：下記の申込書を教育委員会内公民館へ持参か

白馬村公民館まで電話、FAXでお申込みください。

お問合せ：白馬村公民館 電話85-0726 FAX85-0723

----- 切り取り線 -----

公民館講座はくば塾「旅日記を楽しもう」受講申込書

名 前	
住 所	
連絡先	